

**加法, 減法 (1)****加法 (たし算) の計算方法**

同符号の2数の和 : 絶対値の和を計算して、元の数と同じ符号をつける。

異符号の2数の和 : 絶対値が大きい数から絶対値が小さい数を引いて、絶対値が大きい数の符号をつける。

絶対値の等しい異符号の2数の和 : 0

**交換法則と結合法則**

交換法則 : 加法では、計算する順番を入れかえても、和はかわらない。

結合法則 : 加法では、 $(a+b)+c=a+(b+c)$  のように組み合わせをかえても、和はかわらない。

【1】 次の計算をなさい。

$$\begin{aligned}(1) (+9) + (+7) &= +(9 + 7) \\ &= +16\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(2) (-2) + (-6) &= -(2 + 6) \\ &= -8\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(3) (+13) + (+9) &= +(13 + 9) \\ &= +22\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(4) (-10) + (-3) &= -(10 + 3) \\ &= -13\end{aligned}$$

【2】 次の計算をなさい。

$$\begin{aligned}(1) (+2) + (-6) &= -(6 - 2) \\ &= -4\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(2) (+4) + (-16) &= -(16 - 4) \\ &= -12\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(3) (-3) + (+8) &= +(8 - 3) \\ &= +5\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(4) (-7) + (+15) &= +(15 - 7) \\ &= +8\end{aligned}$$

【3】 次の計算をなさい。

$$\begin{aligned}(1) (+3) + (-2) + (+8) + (-3) \\ &= (+3) + (+8) + (-2) + (-3) \\ &= (+11) + (-5) \\ &= +6\end{aligned}$$

$$\begin{aligned}(2) (-2) + (+9) + (-5) + (+4) \\ &= (+9) + (+4) + (-2) + (-5) \\ &= (+13) + (-7) \\ &= +6\end{aligned}$$